

安全教育推進のための今後の取組(案)

計画	第1期					第2期						
	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33		
モデル事業等	実践的防災教育総合支援事業		防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業			各地域における取組を促進						
	通学路安全推進事業		中核となる教員を中心とした取組の推進									
	地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業											
指導資料等	『『生きる力』を育む防災教育の展開』の改訂(H25)・周知					『『生きる力』を育む学校安全の推進』(仮称)の作成(H29・H30※)・周知 ※学習指導要領改訂等を踏まえ作成						
	『安全に通学しよう』(防災を含む安全教育教材DVD)の作成(H25)・配布・周知					『総合危機管理マニュアル作成の手引き』の作成(H29)・周知						
研修	学校安全教室の推進											
	学校安全指導者養成研修(教員研修センター)											
学習指導要領改訂スケジュール	幼稚園		答			全面実施						
	小学校		改			周知・徹底		先行実施			全面実施	
	中学校		申					先行実施		全面実施		
	高等学校					改訂		周知・徹底	先行実施(34年度より年次進行で実施)			

防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業

(前年度予算額：225百万円)
29年度要求額：232百万円

趣旨・事業イメージ

我が国においては、地震・津波、台風・集中豪雨等による災害が多数発生している。また、登下校中の児童生徒等が巻き込まれる交通事故、さらには、学校内外において不審者による児童生徒等の安全を脅かす事件などが依然として発生している。

- 児童生徒等自身に安全を守るための能力を身に付けさせる安全教育の充実
 - 児童生徒等の生活の場である学校の安全管理体制の充実
- が求められている。

都道府県教育委員会等
(実践地域・学校の指定)

◆教育手法の開発

- 地域の災害リスク(地震・原子力・火山・土砂災害等)に応じた、緊急地震速報等の各種情報ツールを活用した避難訓練の実施
- 交通安全の意識や技能を高める教育手法の開発・推進
- 防犯を含む生活上の安全に関する教育手法の開発・推進
- 関係省庁(機関)が行う安全に関する取組と連携した教育手法の開発・推進

◆被災地支援を通じた体験型防災教育の推進

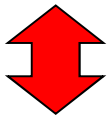
- 安全で安心な社会づくりに参画することの意義について、支援者となる視点から学ぶための防災教育の推進
- 被災地の実情を見聞することを通じた実践的教育活動の推進

◆学校の安全管理体制の充実

- 通学路合同点検等、登下校時の安全を確保する体制・システムの構築
- 学校外や夜間等、様々な場面・時間を想定した安全管理体制の充実
- セーフティプロモーションスクール等の先進事例を参考に地域の学校安全関係者(有資格者等)、関係機関及び団体との連携・協力
- PDCAサイクルに基づく学校安全計画の評価と次年度計画への反映・実践

中核となる教員を中心とした取組の推進

専門家等アドバイザーの指導・助言



文部科学省

優良な取組を行う学校・地域の実践事例集

成果発表会の開催等による普及・ポータルサイトを活用した全国での情報共有

成果

- 優良な実践事例の学校及び学校の設置者による共有
- 学校及び地方公共団体等による取組の増加
- 全国的な防災教育を中心とした安全教育の質の向上



学校安全推進のための手引き作成

(新規)

29年度要求額

47百万円

学校保健安全法は、各学校において**学校安全計画**、**危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）**を作成することを義務づけており、その適切な実施のため、国は、各種学校安全資料を作成・配布してきたところ。平成28年度に「**第2次学校安全の推進に関する計画**」の策定や「**学習指導要領**」の改訂等が行われることを受け、それらを踏まえた学校安全資料の改訂を行う必要がある。

現学校安全資料

【学校の危機管理マニュアル】(H19最新改訂)



【現状】

学校への不審者侵入や登下校時の対応等、防犯中心の内容となっており、学校管理下における事故等、学校で想定されるあらゆる危機事象に対応するためには**情報の充実が必要**

【「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育】(H22最新改訂)

【「生きる力」を育む防災教育の展開】(H25最新改訂)



【現状】

学校安全全般について基本的な考え方を整理しているが、安全教育については大まかな目標や実践例の提示にとどまっている。学習指導要領の改訂等を踏まえ、安全に関する資質・能力の育成を実現するため、「カリキュラム・マネジメント」の充実方策について整理する必要

新たな学校安全資料

【総合危機管理マニュアル作成の手引き】

- ・学校事故や自然災害、交通事故等、防犯以外への対応を加え、学校における**危機事象を網羅**
- ・校外学習や寄宿舎といった学校外や夜間などでの対応も含め、**様々な場面・時間を想定**
- ・上記を検討する上で近年の事件・事故等を考慮



作成にあたっては
検討内容を共有

【「生きる力」をはぐくむ学校安全の推進(仮)】

・学習指導要領改訂を踏まえ、各学校における安全に関する資質・能力の育成に向けて「カリキュラム・マネジメント」の視点から例えば以下のような方策について整理し、具体的な事例を含めて提示することにより、各学校での取組に資する。

- ・教育課程編成の在り方
- ・教育課程の実施の在り方
- ・教育課程の評価及び改善の在り方

※資料の完成は、平成29年度告示予定の高等学校学習指導要領を踏まえ、平成30年度を予定

安全管理の徹底

安全教育の充実

全面的改訂

【期待される効果】

- ・各学校における危機管理マニュアルの充実及び安全管理の実効性の向上
- ・新学習指導要領を踏まえた各学校における教科等横断的な安全教育の充実

学校安全教室の推進

前年度予算額 64百万円
29年度要求額 57百万円

- ・通学路で子供たちが巻き込まれる事件
- ・地震や風水害などの自然災害の発生
- ・交通事故の発生
- ・学校への不審者の侵入
- ・事件、事故発生時の初期対応

指導者養成研修

【防犯教室】



【講習会の内容】

防犯訓練による学校への不審者侵入時の子供の安全確保の方法 など

【防災教室】



【講習会の内容】

防災訓練等による自然災害発生時の適切な避難方法、子供とつくる地域防災マップの事例 など

【交通安全教室】



【講習会の内容】

道路交通法の改正のポイントを踏まえた学校における自転車教室での効果的な指導方法 など



学校安全教室の講師となる教職員等に対する指導法等の講習会を実施するとともに、事故対応に関する研修及び心肺蘇生法実技講習会等の教職員等に対する研修を実施する。

教職員研修

【事故対応に関する講習会】

【講習会の内容】

事故発生時の初動対応や事後対応等の学校の危機管理の在り方に関する事、再発防止を含む事故防止対策に関する事、第三者委員会などの検証組織の必要性・在り方に関する事など

【心肺蘇生法実技講習会】 (AEDの取扱いを含む。)

【講習会の内容】

蘇生法訓練用人体模型（シミュレーター）を用いた実技講習 など



【リーフレット作成】

小学校低学年向け学校安全教室用リーフレットを作成・配布

- ・教職員等の安全に関する指導力及び安全対応能力の向上
- ・児童生徒等が危険を予測し、回避する能力の向上